

吸収合併に係る事前開示書面

Shinwa Wise Holdings 株式会社
Shinwa Auction 株式会社

吸収合併に係る事前開示書面

(吸収合併存続会社：会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に基づく書面)

(吸収合併消滅会社：会社法第 782 条第 1 項及び会社法施行規則第 182 条に基づく書面)

2026 年 10 月 26 日

東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 2 号

Shinwa Wise Holdings 株式会社

代表取締役社長 米田 岳

東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 2 号

郵船ビルディング

Shinwa Auction 株式会社

代表取締役 高橋 健治

Shinwa Wise Holdings 株式会社（以下「吸収合併存続会社」といいます。）及び Shinwa Auction 株式会社（以下「吸収合併消滅会社」といいます。）は、吸収合併存続会社及び吸収合併消滅会社の間で締結した吸収合併契約に基づき、2026 年 12 月 1 日（火）を効力発生日として吸収合併（以下「本合併」といいます。）を行うことといたしました。

本合併に関し、会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条並びに会社法第 782 条第 1 項及び会社法施行規則第 182 条に定める事項は以下のとおりです。

記

1. 吸収合併契約の内容
別紙 1「吸収合併契約書」のとおりです。
2. 合併対価の相当性に関する事項
完全親子会社間の合併につき、合併対価の交付はありません。
3. 合併対価について参考となるべき事項
該当事項はございません。
4. 新株予約権の対価の定め相当性に関する事項
該当事項はございません。

5. 計算書類等に関する事項

【吸収合併存続会社】

(1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容

吸収合併存続会社は、金融商品取引法に基づき有価証券報告書及び半期報告書を関東財務局長に提出しており、最終事業年度に係る計算書類は、金融庁の電子開示システム(EDINET)で閲覧できます。

(2) 最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はございません。

(3) 最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事項はございません。

【吸収合併消滅会社】

(1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容

吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等は別紙2のとおりです。

(2) 最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はございません。

(3) 最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の内容

該当事項はございません。

6. 吸収合併が効力を生ずる日以後における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みに関する事項

本合併の効力発生日以後の吸収合併存続会社の資産の額は、債務の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本合併効力発生日以後も、吸収合併存続会社の収益及びキャッシュフローの状況につき、吸収合併存続会社による債務の履行に支障を及ぼすような事象は、現在のところ想定されておりません。したがって、本合併効力発生日以後における吸収合併存続会社の債務の履行の見込みはありと判断いたします。

7. 備置開始日後の変更

本書面の備置開始日後、本合併の効力発生日までの間に上記事項に変更が生じた場合は、変更後の事項を速やかに開示いたします。

以上



吸収合併契約書

Shinwa Wise Holdings 株式会社(以下、「甲」という。)と Shinwa Auction 株式会社(以下、「乙」という。)は、以下のとおり吸収合併契約(以下、「本契約」という。)を締結する。

第 1 条(吸収合併)

甲及び乙は、本契約の定めに従い、甲を吸収合併存続会社とし、乙を吸収合併消滅会社とする吸収合併(以下、「本合併」という。)を行う。

第 2 条(当事者の商号及び住所)

甲及び乙の商号及び住所は、それぞれ次のとおりである。

(1) 吸収合併存続会社(甲)

商 号:Shinwa Wise Holdings 株式会社

住 所:東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 2 号

(2) 吸収合併消滅会社(乙)

商 号:Shinwa Auction 株式会社

住 所:東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 2 号郵船ビルディング

第 3 条(合併対価)

甲は、乙の発行済株式の全部を所有しているため、本合併に際して、乙の株主に対する甲の株式又はこれに代わる金銭等の交付は行わない。

第 4 条(資本金及び資本準備金に関する事項)

甲の資本金及び資本準備金の額は、本合併により変動しない。

第 5 条(効力発生日)

本合併が効力を生ずる日(以下、「本効力発生日」という。)は、いずれも 2026 年 12 月 1 日とする。

但し、本合併の手の続の進行上の必要性その他の事由により必要がある場合には、甲及び乙が協議し合意の上、本効力発生日を変更することができる。

第 6 条(株主総会)

1. 甲は、会社法第 796 条第 2 項の規定により、同法第 795 条第 1 項に定める株主総会の承認を得ないで本合併を行う。
2. 乙は、会社法第 784 条第 1 項の規定により、同法第 783 条第 1 項に定める株主総会の

承認を得ないで本合併を行う。

第 7 条(権利義務の承継)

甲は、本効力発生日において、乙の資産、負債その他一切の権利義務を承継する。

第 8 条(善管注意義務等)

甲及び乙は、本契約締結後、本効力発生日に至るまでの間、善良なる管理者の注意をもって、それぞれの業務執行及び財産の管理を行い、その財産及び権利義務に重大な影響を及ぼすような行為をなす場合には、あらかじめ甲及び乙が協議し、合意の上これを行うものとする。

第 9 条(本合併の条件の変更及び本合併の中止)

甲及び乙は、本契約締結日から本効力発生日までの間において、天災地変その他の理由により、甲又は乙の財政状態又は経営状態に重大な変動が生じた場合、本合併の実行に重大な支障となる事態が生じ又は明らかとなった場合、その他本合併の目的の達成が困難となった場合には、協議の上、本契約に定める本合併の条件を変更し、又は本契約を解除することができる。

第 10 条(本合併の効力)

本合併は、本効力発生日までにその実行のために必要となる関係官庁の認可、許可、登録又は承認等が得られなかったときは、その効力を失うものとする。

第 11 条(管轄裁判所)

本契約に関連して発生する訴訟その他の一切の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

第 12 条(協議事項)

本契約に定めのない事項又は本契約の解釈に疑義を生じた事項については、甲及び乙は誠意をもって協議解決する。

本契約の成立を証するため、本書1通を作成し、甲及び乙記名押印の上、原本を甲が、写しを乙が保有する。

2026年10月15日

甲 東京都千代田区丸の内二丁目3番2号
Shinwa Wise Holdings 株式会社
代表取締役 米田 岳

乙 東京都千代田区丸の内二丁目3番2号郵船ビルディング
Shinwa Auction 株式会社
代表取締役 高橋 健治

第 9 期

事 業 報 告

自 令和 7 年 6 月 1 日

至 令和 8 年 5 月 31 日

Shinwa Auction 株式会社

事業報告

(2025年 6 月 1 日から
2026年 5 月31日まで)

I 企業集団の現況に関する事項

1. 当事業年度の事業の状況

(1) 事業の経過及び成果

当事業年度（2025年 6 月 1 日～2026年 5 月31日）におけるわが国経済は、輸出のマイナス幅が縮小し、内需（民間消費、住宅投資、設備投資）が増加したことから、前期比実質GDP成長率はプラスとなりました。今後もガソリン暫定税率廃止やエネルギー関係補助金による物価高対策、17の戦略分野への投資などが経済成長を後押しすることが予想されます。一方、米国では、米政府機関閉鎖が米国史上最長期間に及んだ影響により景気は一時減速したものの、AI関連投資や底堅い雇用を背景に持ち直しました。もっとも、中東情勢に起因するエネルギー価格の上昇などからインフレが再加速しており、金融政策を巡る不確実性が高まっております。また、欧州においても、エネルギー価格の上昇を受けてインフレが再加速し、ECB（欧州中央銀行）は2023年以来となる利上げに転じました。加えて、日中関係の悪化による中国からのインバウンド需要の低下、米中関係の不安定さによるサプライチェーンへの影響リスク、ウクライナ戦争による穀物生産量の激減に伴う食糧価格の高止まり傾向など、わが国の景気を下押しするリスクもあり、依然として不透明な状況が続いております。

また、ガソリン暫定税率の廃止をはじめとする政府の物価高対策等により消費者物価の伸びは鈍化したものの、中東情勢による原油価格の上昇や人件費増加によるサービス面からのインフレ圧力は根強く残っております。日銀は、2025年12月に続き本年 6 月の金融政策決定会合において政策金利を1.00%（1995年以来の水準）へ引き上げましたが、歴史的な円安の進行と物価上昇が続く中、インフレによる現金資産の実質的な目減りが意識されやすい状況に変わりはなく、その対策として実物資産への需要は引き続き一定レベルを保っております。これに伴い、潜在需要が供給を上回る金の価格と、都内の中古マンションへの投資などによる不動産価格指数は、堅調に上昇基調を維持しております。

このような環境のもと当社は、高額美術品を中心とした優良作品、ワイン・リカー及び宝飾品などについても、オークションへの出品誘致を質量ともに充実させるべく、富裕層を中心とした新規顧客の開拓、オークションへの参加促進に努めてまいりました。しかしながら、アートオークション市場では、価格の上昇をにらみ、良品の出し渋り傾向が引き続きみられ、以前に比べ低調に推移いたしました。

このような厳しい状況の中、当社においては、取扱高3,441,008千円（前期比0.8%減）、売上高860,908千円（前期比17.7%減）と減収となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

アート関連事業

種別の業績は次のとおりであります。

部	門	取 扱 高	前期比 増減	構成 比率	売 上 高	前期比 増減	構成 比率
オークション事業	近 代 美 術	千円 1,474,480	% 27.9	% 42.9	千円 375,441	% 31.8	% 43.6
	近 代 陶 芸	263,940	4.4	7.7	52,921	10.1	6.1
	近 代 美 術 P a r t Ⅱ	97,175	△27.2	2.8	27,237	△24.5	3.2
	コンテンポラリーアート	133,485	11.5	3.9	38,474	19.3	4.5
	ワ イ ン ・ リ カ ー	221,215	△51.3	6.4	53,313	△52.1	6.2
	ジュエリー&ウォッチ	289,040	△26.6	8.3	70,320	△30.2	8.2
	そ の 他 (注) 2	666,720	850.6	19.4	106,900	522.1	12.4
	小 計 (注) 1	3,146,055	22.1	91.4	724,609	14.9	84.2
プライベートセール・その他事業	プライベートセール (注) 3	294,953	△66.3	8.6	126,126	△68.7	14.6
	そ の 他	—	—	—	10,171	△19.8	1.2
	小 計	294,953	△66.3	8.6	136,298	△67.2	15.8
合 計		3,441,008	△0.8	100.0	860,908	△17.7	100.0

(注) 1. 取扱高の前期比増減率と売上高の前期比増減率の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素であり、在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催しております。

3. 販売委託契約などによる手数料収入のみを売上高の構成要素としている取引が、取扱高と売上高との大きな乖離の一因となっております。

i) オークション事業

当連結会計年度は、オークションの開催回数は29回でした。内訳は、近代美術オークション、近代美術PartⅡオークション及びコンテンポラリーアートオークションを各6回、近代陶芸オークションを4回、ワイン・リカーオークション、ジュエリー&ウォッチオー

クション及び西洋美術オークションを各2回、北大路魯山人特別オークションを1回でした。

近代美術オークションは、出品点数18.1%減、落札点数12.7%減でしたが、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で257.6%と高水準で推移しました。取扱高は、1,474,480千円となり、前期比27.9%増加しました。

近代陶芸オークションは、出品点数16.2%減、落札点数17.2%減でしたが、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で123.0%という水準で推移しました。取扱高は、263,940千円となり、前期比4.4%増加しました。

近代美術PartⅡオークションは、出品点数11.2%減、落札点数7.9%減でしたが、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で219.4%と高水準で推移しました。取扱高は、97,175千円となり、前期比27.2%減少しました。

コンテンポラリーアートオークションは、出品点数32.0%減、落札点数35.6%減でしたが、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、平均で151.5%という水準で推移しました。取扱高は、133,485千円となり、前期比11.5%増加しました。

ワイン・リカーオークションは、出品点数46.5%減、落札点数49.0%減でした。取扱高は221,215千円となり、前期比51.3%減少しました。

ジュエリー&ウォッチオークションは、出品点数13.6%減、落札点数16.8%増でした。取扱高は289,040千円と前期比26.6%減少しました。

ii) プライベートセール・その他事業

プライベートセール・その他事業では、当事業年度は、売上高136,298円（前期比67.2%減）となりました。

(2) 設備投資の状況

当事業年度中において実施いたしました当社の設備投資の総額は、3,100千円であります。その主なものは、什器備品の取得であります。なお、当事業年度において重要な設備の除却、売却等はありません。

(3) 資金調達の状況

特記すべき事項はありません。

(4) 対処すべき課題

当社は、公開のオークションという商形態にて美術品や高級品の換金やコレクションを円滑に実現し、美術品を中心とした高額品の価値付けに寄与することを自らのミッションとして事業を展開しています。グローバルにおける金利高止まりの継続によって、安全資産および代替資産への分散投資需要が促進され、アートや宝飾品、時計、リカーといった高額商品への投資的なニーズや経済的関心が顕在化しています。このような環境のなかで、当社グループが展開する公開オークションは、単なる流通手段にとどまらず、現代におけるアートや高額資産の経済的価値付けの一翼を担う機能としての社会的意義を持つものと認識しております。

一方、当事業年度は、アートオークション市場における良品の出し渋り傾向やプライベートセールの取扱高の減少により売上高は860,908千円（前期比17.7%減）となり、営業利益7,675千円を計上いたしました。

かかる認識のもと、既存事業（オークション及びプライベートセール）の立て直しに取り組んでまいります。

具体的な取り組みとして、継続的な作品の出品誘致強化の一環として、相続等で放出される高額美術品等の誘引、ライブビッティングシステムの利便性向上と利用拡大をとおして、落札に繋がる潜在顧客を掘り起こし、外国人顧客をはじめとする買い手層の拡大による新たな顧客層の開拓、コンテンポラリーアート分野での作家発掘等を進めてまいります。

また、プライベートセール・その他事業については、当事業年度の売上高が前期比67.2%減となったことを踏まえ、富裕層の実物資産ニーズに応える事業としての位置付けや取引管理のあり方を検証しつつ、買取の拡張を含む再構築に取り組めます。また、ノンコア事業にかかる資産の整理・選択による経営資源の集中を進め、収益構造の安定化を図ってまいります。

2. 財産及び損益の状況

(1) 当社の財産及び損益の状況

区 分	第 36 期 2025年 5 月期	第 37 期 (当事業年度) 2026年 5 月期
売 上 高	千円 1,046,587	千円 860,908
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	千円 38,228	千円 11,412
当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 (△)	千円 38,048	千円 10,299
総 資 産	千円 682,123	千円 1,473,199
純 資 産	千円 220,086	千円 230,385

3. 重要な親会社及び子会社の状況

(1) 親会社の状況

会社名	資本金	当社への出資比率	主要な事業内容
Shinwa Wise Holdings株式会社	220,000千円	100.0%	持株会社・グループ全体の経営方針策定および経営管理等

(2) 重要な子会社の状況

該当事項はありません。

4. 主要な事業内容（2026年5月31日現在）

当社は、主にアート関連事業及びその他事業を行っております。各事業の内容は以下のとおりであります。

(1) アート関連事業

アート関連事業は、大きくオークション事業とプライベートセール・その他事業に分けられます。

オークション事業は、取り扱い作品・価格帯により、近代美術オークション、近代陶芸オークション、近代美術PartⅡオークションを定期的を開催しております。その他、コンテンポラリーアート、西洋美術、ワイン・リカー、MANGA、ブランド雑貨、時計、宝飾品等のオークションを随時開催しております。

プライベートセール・その他事業は、プライベートセール（オークション以外での相対取引である絵画の売買）を中心に行っております。

部 門		主 要 な 内 容
オークション事業	近代美術オークション	・近代日本画、近代日本洋画、彫刻、外国絵画等のオークション ・落札予想価格（以下「エスティメイト」という）の下限金額が概ね20万円以上の作品
	近代陶芸オークション	・近代陶芸（茶碗、壺、香炉等）のオークション（一部古美術を含む）
	近代美術PartⅡオークション	・著名作家の版画、日本画、洋画、陶芸等のオークション ・エスティメイトの下限金額が概ね2万円以上の作品
	その他オークション	・コンテンポラリーアート、西洋美術、ワイン・リカー、マンガ、ブランド雑貨、時計、宝飾品等の上記以外のオークション
プライベートセール・その他事業	プライベートセール	・美術品等の相対取引に関する絵画・NFTアートの販売
	その他	・主として2万円未満の低価格作品に関し、美術業者間交換会にて販売を委託された取引 ・その他

5. 主要な事業所等 (2026年 5 月31日現在)

(1) 当社

本社	東京都千代田区
----	---------

6. 使用人の状況 (2026年 5 月31日現在)

(1) 当社の使用人の状況

使 用 人 数	前 年 度 末 比 増 減
17名	△1

(注) 使用人数は就業員数であり、出向者及びアルバイトは () 内に外数で記載しております。

7. 主要な借入先 (2026年 5 月31日現在)

借 入 先	借 入 金 残 高
株式会社みずほ銀行	19,666千円

8. その他の重要な事項

該当事項はありません。

Ⅱ 会社の状況に関する事項

1. 株式に関する事項（2026年5月31日現在）

- (1) 発行可能株式総数 100,000株
- (2) 発行済株式の総数 5,000株
- (3) 株主数 1名
- (4) 大株主

株主名	持株数	持株比率
Shinwa Wise Holdings株式会社	5,000株	100.0%

(注)自己株式は保有しておりません。

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役に関する事項（2026年5月31日現在）

地 位	氏 名
代 表 取 締 役 会 長	高 橋 健 治
取 締 役 副 会 長	馬 場 元
取 締 役 社 長	泉 山 隆
取 締 役	犬 丸 徹 郎
取 締 役	池 田 茂 夫
監 査 役	高 橋 隆 敏

2 0 2 6 年 5 月 期
決算に関する計算書類

自 令和 7 年 6 月 1 日
至 令和 8 年 5 月 31 日

(目 次)

	頁
1. 貸借対照表	1
2. 損益計算書	2
3. 株主資本等変動計算書	3
4. 個別注記表	4

Shinwa Auction 株式会社

貸 借 対 照 表

(2026 年 5 月 31 日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	1,209,905
現金及び預金	1,450,452	買掛金	14,864
売掛金	471,844	オークション未払金	825,421
オークション未入金	370	1 年内返済予定長期借入金	4,008
	795,453	未払金	324,689
商品	140,576	未払法人税等	180
貸付金	30,000	前受金	11,812
その他	13,313	未払消費税	12,483
貸倒引当金	△1,106	賞与引当金	9,447
		その他	6,997
固定資産	22,747	固定負債	32,908
(有形固定資産)	11,352	長期借入金	15,658
建物	693	退職給付引当金	17,250
工具、器具及び備品	10,659	負債合計	1,242,813
車両運搬具	0	純資産の部	
(無形固定資産)	8,433	株主資本	230,385
ソフトウェア	8,433	資本金	50,000
(投資その他の資産)	2,961	利益剰余金	180,385
敷金及び保証金	2,961	利益準備金	6,680
長期未収入金	24,100	その他利益剰余金	173,705
貸倒引当金	△24,100	繰越利益剰余金	173,705
		純資産合計	230,385
資産合計	1,473,199	負債・純資産合計	1,473,199

損 益 計 算 書

自 2025 年 6 月 1
日
(至 2026 年 5 月 31)
日

(単位：千円)

科目	金額	
売上高		860,908
売上原価		247,678
売上総利益		613,229
販売費及び一般管理費		605,554
営業利益		7,675
営業外収益		
受取利息	816	
受取保険金	465	
その他	3,165	4,447
営業外費用		
支払利息	398	
その他	311	710
経常利益		11,412
特別損失		
固定資産除却損	933	933
税引前当期純利益		10,479
法人税、住民税及び事業税	180	180
当期純利益		10,299

株主資本等変動計算書

自 2025 年 6 月 1
日
(至 2026 年 5 月 31)
日

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	利益剰余金			株主資本 合 計	純資産 合 計
		利益準備金	その他 利益剰余金	利益剰余金 合 計		
			繰越利益 剰余金			
当期首残高	50, 000	6, 680	163, 406	220, 086	220, 086	220, 086
当期変動額						
当期純利益			10, 299	10, 299	10, 299	10, 299
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）				－	－	－
当期変動額合計	－	－	10, 299	10, 299	10, 299	10, 299
当期末残高	50, 000	6, 680	173, 705	230, 386	230, 386	230, 386

個 別 注 記 表

(自 2025 年 6 月 1 日 至 2026 年 5 月 31 日)

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品

個別法による原価法（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法（ただし、建物附属設備については定額法）を採用しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5 年）に基づいております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき計上しております。

なお、当社は、従業員数 300 人未満の小規模企業等に該当するため、簡便法を採用しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

なお、履行義務に対応する対価は、履行義務が充足された後、概ね 1～2 ヶ月以内に受領しているため、重要な金融要素を含んでおりません。また、対価の金額が変動しうる変動対価はありません。

（オークション事業）

履行義務に対する主な対価は、出品手数料及び落札手数料であります。当社が開催するオークションにおいて出品物が出品された時に履行義務が充足されるものの、契約上出品物が落札されることが出品手数料及び落札手数料の請求条件としていることから、落札時に収益を認識しております。

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の種類及び数

普通株式 5,000 株

2. 当事業年度の末日における自己株式の種類及び数
該当事項はありません。
3. 当該事業年度中に行った剰余金の配当
該当事項はありません。
4. 当該事業年度末の末日における株式引受権に係る当該株式会社の株式の数
該当事項はありません。
5. 当該事業年度の末日における当該株式会社が発行している新株予約権の目的となる当該株式会社の株式の数
該当事項はありません。

監査報告書

私は、令和7年6月1日から令和8年5月31日までの第9期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表及びその附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和8年8月27日

Shinwa Auction 株式会社

監査役 高橋 隆敏